

令和5年度 事業報告

◇はじめに

令和2年から猛威を奮ってきた新型コロナが、令和5年5月に感染症法上の「5類」に引き下げられたことで感染対策のしがらみから解放され、徐々に地域活動が再開されました。長引くコロナ禍の影響により地域住民の外出機会が減ったことで希薄化してしまった「地域のつながり」を取り戻し、人と人が繋がることの安心を感じることができた一年となりました。一方で新型コロナや物価の高騰がもたらした「貧困や孤立」の影響は今も随所に見られ、ひとり暮らし高齢者やひとり親世帯などの社会が支えるべき人々にとって困難が続いている現状が改めて浮き彫りになった年でもありました。

そのような状況の中で本会は、年度当初「コロナ禍だからこそ、つながりを実感できる地域づくり」をテーマに掲げて事業を行ってきましたが、想像以上にコロナ禍の払拭が進んだことで、ふれあいいきいきサロンの活性化や子ども食堂の後方支援などの「つながり作り活動」にて、より大きな効果を得られました。特に生活支援協議体活動において、高齢者を支える地域づくりを住民が主体となって取り組む体制を整えることができました。

また、新型コロナウイルス特例貸付が、令和4年9月末日をもって受付期間を終了したことから、「生活困窮の悩みを受け止める仕組みづくり」として、総合相談窓口の増員や貸付相談の拡充を行いました。特に特例貸付フォローアップ支援として償還の相談等に丁寧に対応することで生活に困窮された方のセーフティネット機能を果たすことができました。

これらの事業は令和6年度に期間を終える「地域福祉活動計画」の基本理念である「支えあいみんながつながる高根沢」の実現に貢献し、目指す「地域共生社会の実現」に向けて前進することができました。

一方、長らく一人暮らし高齢者の安否確認の役割を果たしてきた「安心見守り牛乳事業」や、新型コロナ感染対策として児童生徒の感染対策を推奨してきた「約束のハンカチ事業」は代替え事業や感染症流行の落ち着きなど状況の変化を受け、一定の役割を終えたとして、令和5年度をもって終了することとなりました。

なお、一連の本会事業を実施するにあたっては地域住民を始め、自治会、民生委員・児童委員、福祉関係機関、企業、ボランティア、行政など、様々な関係者・関係機関の協力を得て実施してまいりました。ここに感謝を申し上げつつ、以下のとおり令和5年度事業をご報告いたします。

■地域福祉事業

身近な地域で支えあう地域住民の地域福祉活動を支援します。

◎ 地域福祉計画・地域福祉活動計画事業の推進 策定された地域福祉計画・地域福祉活動計画を、計画推進委員会にて点検・軌道修正 - 計画運営委員会:9/25 計画基本目標別グループによる中間総括:11/20 - 高根沢版エンディングノートの作成や子ども食堂支援等の実現した事業もあるなかで、駅前緑化マルシェや町の縁側づくりなど残された課題を確認	【愛の基金事業】
赤い羽根共同募金地域助成事業 地域団体(自治会、公民館等)の行う福祉活動に対し活動資金を助成 助成金額:220,000円 助成団体:5団体(南区自治会、東高谷自治会、宝石台あおぞら子供会育成会、桑窪公民館、高根沢こども食堂プロジェクト)	【共同募金配分事業】
◎ 生活支援体制整備事業 ※地域支えあいセンターにて一体的に実施 「高齢者を支える地域づくり」を進めるため、第2層生活支援協議体(中学校区毎に設置)の運営と住民主体サービス団体の開発 - 第1層生活支援協議体:8回(全体会3回、コア会議5回)、第2層生活支援協議体:17回(阿久津8回、北高9回) - 住民主体による生活支援サービス勉強会:2回(2種のサービス検討会を立ち上げ) - サロン等移動支援検討会:6回、ちょっこまサポート検討会:8回	
感染症対策用品の貸出㊦ 地域行事等に非接触体温計やパーテーションなどを貸出 利用なし	

■生活支援事業

日常生活に不安のある人や、困難な状況にある人をサポートし自立への支援をします。

日常生活自立(あすてらす)支援事業 判断能力の不十分な方への金銭管理代行、書類等の預かりを実施 契約者数:延べ11名(新規5名、解約2名)、支援件数:延べ153件(支援外38件含む)
◎ 県生活福祉資金貸付事業(県社協事業窓口) 他制度を利用できない低所得世帯等に対し、資金の貸し付けと必要な相談支援を実施。また新型コロナ特例貸付の償還に加えて、生活再建に向けた支援の実施 - 相談:177件(本則貸付69件 特例貸付108件) - 貸付(本則貸付):6件(緊急小口資金:3件(300,000円)、教育支援資金:2件(1,105,000円)、福祉費:1件(792,000円)) - 特例貸付フォローアップ支援の実施(借受人アンケート[86/221件・回収率38.9%]、償還免除・猶予の案内や記載補助)
町福祉金庫の運営 生活に困窮している方の生活費として、相談と小口資金の貸し付けを実施 相談:34件、貸付:7件(210,000円)、償還:19件(144,000円)

◎フードバンクたかねざわの運営②	【共同募金配分事業】
食品の寄付を受け付け、様々な事情で食べ物に困っている方にお渡しする活動。また、フードバンク協力事業所、店舗にフードポストを増設し寄付食品のさらなる回収を図る	
・相談:62件 ・寄付:348件(12,015点 4,593kg)、提供:317件(11,148点、4,387kg) ・「赤い羽根とちぎ生活困窮者への緊急支援活動助成(18万円)」を活用した食料保管環境の整備 ・フードドライブの実施:6回(5/7保護猫譲渡会、5/21エコフェスタ、9/9図書館ご縁祭り、6/14、10/11、2/1献血) ・こども食堂子育て世帯応援食品配布会:3回(8/26、11/11、3/16 100世帯967kg)	
介護・介助用具貸与事業	
介護ベッド等の介護、介助用品を無料貸し出し	
・ベッド:6件(空き12台)、車椅子:19台(空き11台)、四点杖:2本(空き3本)、歩行器:1台(空き1台)、シルバーカート:1台(空き2台)	
心配ごと相談所の開設 ※地域支えあいセンターにて一体的に実施	【共同募金配分事業】
民生委員の協力を得て、月2回の相談所を開設	
・開設:24回 相談:5件(他機関紹介3件、その他2件) ・県相談員研修会に相談員2名参加	
法律相談事業の実施 ※地域支えあいセンターにて一体的に実施	
弁護士が法律的な諸問題の相談に応じる場を奇数月に開設	
・開設:6回(一回5件で延べ30件対応)、相談申込:67件	

■ ボランティア、住民活動の育成・強化活動 ※支えあいセンターまるっとにて一体的に実施
ボランティア活動、住民活動を活発にするための環境を整備し、各種講座を実施します。

ボランティアセンターの運営
ボランティアセンターにおいて、さまざまな機関と協働し、ボランティアの振興を図るとともに、ボランティア人材を育成する各種講座を開催
・ボランティア登録活動者:84名(新規12名)、ボランティア登録団体:19団体 ・ボランティア依頼:11件、マッチング43名 ・朗読ボランティア講座(音訳体験会):7名(内5名が音訳ボランティア登録) ・災害ボランティア講座災害ボランティアコース:15名 ※避難所運営コースは次年度へ ・障がい者サポーター養成講座実施協力:29名(8/9一般13名、3/16役場職員16名)
◎ 学生ボランティア支援事業
学生を対象としたボランティア活動を実施
・参加者:88名(阿久津中12名、北高中11名、高校生65名) ・協力事業所:12か所(中学生対象学童保育所4か所、高校生対象福祉施設8か所)
ボランティア保険助成事業
ボランティア活動を行う方の活動保険料を助成
・学校支援ボランティア保険助成:8校(270名) ・全社協ボランティア保険受付:活動保険103名、行事用保険21件、総合保障2件

志民活動センター事業 町民による社会貢献活動(志民活動)を支援し、団体間の横のつながりを活かしながらまちづくりを促進する事業 ・ 志民活動メールボックス設置:6団体登録、活動支援団体:7団体 ・ 志民活動相談:6件、活動支援:こども食堂継続支援(フードバンク提供)
元気シニア応援窓口の設置 町シニアクラブと連携してシニア世代の社会参加活動に関する相談窓口を設置 ・ 利用者:3名、利用目的:ボランティア相談3件

■高齢者福祉対策事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう、介護予防の充実等に努めます。

ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯への訪問と生活支援 登録したひとり暮らし高齢者、高齢世帯への定期的な訪問 ・ 再訪問:20件、定期訪問:1件(12回)
安心見守り牛乳事業 【愛の基金事業】 75歳以上のひとり暮らし高齢者に対して2日に1度の牛乳宅配による安否確認 ・ 最終利用者:73名 ※牛乳店の閉業により、令和6年3月31日で事業終了
一般高齢者介護予防事業「元気はつらつ運動教室」の開催 福祉センター及び図書館中央館、仁井田分館、上高ふれあいセンターにて開催 ・ 福祉センター会場(毎週火・木開催):87回(登録者73人、参加者延べ946人) ・ 図書館会場(毎月水曜開催):41回(登録者75人、参加者延べ450人)
地域の居場所(ふれあいいきいきサロン)設置 【愛の基金事業】 地域ボランティアを担い手としたふれあいいきいきサロンの設置と担い手講座の開催 ・ 設置:16カ所、開催:延べ224回
◎ 地域の居場所間交流事業(北高くらし支えあい協議体) 既存の地域の居場所同士の交流を目的とした事業の実施 ・ SNSアイコンコン画像テスト審査:宝石台サロンにっこりが大賞受賞 ・ サロン参加者向けボッチャ体験会の開催:2回開催(6/20、6/29) ・ サロン参加者作品展:8サロン22名、団体出展3団体
◎ みまもるアイたかねざわ事業(つながる絆あくつ協議体) バンダナを付けて普段の活動(犬の散歩やウォーキング)を行うことで地域を“見守る”と自身への“見守られる”を兼ねる事業 ・ イベントでの活動周知:3回実施(エコフェスタ、図書館祭り、宝石台夏祭り) ・ つながる絆バンダナPRウォーク:3地区実施(10/11宝石台、11/15南区、1/10中台と北区と中区)
高齢者見守り配食サービス ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対して昼食宅配による安否確認 ・ 登録者:211名 実利用者:116名(Cook48名、いぶき51名、ワタミ17名)

■障がい者福祉対策事業

障がい児者の生活を支援し、地域に対して理解の促進を図ります。

朗読ボランティアと連携した広報朗読テープ配布事業【共同募金配分事業】 みすず会の協力を得て「広報たかねざわ」、「社協だより」の読替テープを作成し配布 ・利用者:3名、設置施設:9ヶ所、毎月読み替えテープを提供
手話講習会(初めて講習、ステップアップ講習)の開催 【共同募金配分事業】 初めて講習を月2回開催、ステップアップ講習を月1回開催 ・初めて講習開催:14回(隔週水曜日)、登録者:18名(新規7名) ・ステップアップ講習開催:12回(毎月第3土曜日)、登録者:17名(新規5名)
障がい児と支援ボランティアとの交流事業 【共同募金配分事業】 GENKI応援ボランティアの協力を得て障がい児との交流事業を実施 ・交流会の実施:2回(10/29エコハウスにて交流会[勉強会、工作、カレー作り]、 12/16エコハウスにてクリスマス会[工作、ゲーム、食事会])

■福祉教育・子育て支援事業

児童福祉の推進のため、子育て環境の改善や学校と連携した福祉教育の推進を図ります。

子どもと高齢者の交流事業 【共同募金配分事業】 町内保育園にてシニアクラブ会員との交流会を実施 ・実施保育園:4園(空と大地、こぼと、にじいろ、のびのび)、実施事業:6事業
児童生徒等に対する福祉体験講師派遣 学校で行われる福祉学習プログラムの提案及び講師の派遣 ・実施小学校:3校(北小、東小、阿小、実施:延べ7回)
約束のハンカチ事業㊥ 【共同募金配分事業】 小学1年生、中学1年生を対象にハンカチを贈呈し感染予防の意識を高める。また、共同募金の取組に触れてもらう機会とする。シトラスリボン活動と協働事業 ・贈呈(令和6年度入学新1年生対象):小学生216名、中学生232名

■災害時対策事業

災害を見据えた連携を図り、避難行動要支援者支援体制の強化を図ります。

避難行動要支援者台帳の作成及び管理 調査員が避難行動要支援者台帳の更新、新規調査等を実施 ・登録者:532人(一人暮らし273人、高齢世帯83世帯、要介護3以上34人、身体102人、知的17人、精神5人、その他18人) ・訪問:419件(新規訪問86件、再訪問333件)
災害対応訓練への参画 災害対応訓練において、在宅福祉ネットと協働して福祉対策本部の設置訓練実施 ・2/17町災害対応訓練にて、福祉対策本部の設置及び、福祉避難所への支援を想定した訓練を実施

■福祉センターの指定管理運営

施設の設置目的に沿った運営をし、適切な管理を行います。

◎ 福祉センター総合相談窓口事業 ※地域支えあいセンターまるっとにて一体的に行う 種別を問わない各種相談に応じ、適切な助言を行う。相談員を1名増員し2名体制に強化 ・ 相談:361件(内多機関協働事業対応6ケース、アウトリーチ継続支援対応6ケース、参加支援対応2ケース)
各種団体への会議室等貸出 会議室、集会室を福祉団体等に貸出 ・ 集会室:311回(2,199名)、会議室:356回(1,166名)、多目的室:113回(670名)
福祉避難所拠点運用事業 災害時に福祉避難所の拠点施設として、関係機関と連携しながらネットワークを構築 ・ 災害対応訓練時に福祉避難所支援拠点として福祉センターを使用
リモート会議専用スペースの整備③ リモート会議など多様な施設利用方法に対応した会議スペースを整備 ・ 地域ケア会議(定例)や各種リモート会議にて活用
高齢者の福祉センターを利用したサークル活動の促進 将棋、囲碁、カラオケ、民舞、手芸、フラダンスなどの高齢者サークル活動を支援 ・ 囲碁、将棋、民舞、3B体操、フラダンス、手芸サークル

■情報発信

社協だよりやホームページを活用し、社会福祉協議会に関する情報の充実を図ります。

広報誌「社協だより」の発行 年2回社会福祉協議会広報誌の発行 ・ 発行:2回(6月号[vol.22]、10月号[vol.23])、各7,590部(新聞折り込み)	【共同募金配分事業】
◎ 生活支援体制整備事業情報誌「ミルシル」の拡充 地域活動促進を目的とし地域で活躍する人にスポットを当てた広報誌「ミルシル」を拡充 ・ ミルシルの発行:4回(4/16春号[第9号]、7/9夏号[第10号]、10/15秋号[第11号]、1/28冬号[第12号])、各8,000部(新聞折り込み)	
町内各種イベントでの啓発 町内外のイベントにて活動の周知、啓発 ・ 4/8さくらフェスタ、5/21エコフェスタ、5/7保護猫譲渡会、9/9図書館ご縁祭り、10/1宝石台夏祭り	
ホームページ、SNS(フェイスブック、インスタグラム)、LINEでの啓発(常設) ホームページを更新し各種情報を提供。またSNSやLINEでの情報の発信・収集 ・ インスタグラム:投稿68件、フォロワー447名 フェイスブック:投稿55件、フォロワー172名、LINE:投稿:12回、友だち登録者:101名	

■日本赤十字社事業

日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区として、災害事業やボランティア支援を行います。

火災見舞い品(布団、毛布、救急セット)の給付 火災等の被害を受けた世帯へ見舞い品の給付 ・ 交付:2件
◎ 日赤救急法講習会の開催 住民を対象とした救急法等の講習会を開催 ・ 赤十字健康生活支援支援講習会:2/20(22名)
赤十字奉仕団員活動 高根沢町分区赤十字奉仕団が行うボランティア活動を支援 ・ フードドライブの運営協力:3回(延べ12名協力) ・ 町文化祭甘酒提供:11/3(37名協力) ・ 災害ボランティア講座協力:1/20(6名協力)

■地域支えあいセンターまるっとの運営

複合的な課題に対して相談を受け止め、地域と専門職が連携して課題解決に取り組みます。

地域支えあいセンターまるっとの運営 「総合相談窓口事業」、「ボランティアセンター事業」、「志民活動センター事業」を一体的に行うことによって多様化する相談を包括的に受けとめ、適切な支援に繋ぐ窓口を設置
生活支援体制整備事業 (再掲:地域福祉事業)
ボランティアセンターの運営 (再掲:ボランティア・住民活動事業)
志民活動センター事業 (再掲:ボランティア・住民活動事業)
福祉センター総合相談窓口事業 (再掲:指定管理事業)
心配ごと相談所の開設 (再掲:生活支援事業)
法律相談事業の実施 (再掲:生活支援事業)
LINEを活用した相談の実施 ・ LINE相談利用:7名

■募金活動

活動の財源確保として各種募金の推進を図ります。

赤い羽根共同募金の推進	2,394,386円
日本赤十字会費納入の推進	1,910,000円
町愛の基金造成の推進	1,297,135円
社会福祉協議会費の納入推進	1,905,020円
各種義援金、救援金の募集	
・ 令和6年能登半島地震災害義援金	545,619円
・ ウクライナ人道危機救援金	7,872円

■その他の活動

不要入れ歯リサイクル 役場、福祉センターに「入れ歯回収ボックス」を設置し、入れ歯をリサイクルした益金を地域に還元 実績なし
善意銀行の運営 住民からの善意(物品寄贈)の窓口を設置 寄付:5件(車椅子4台、シルバーカート1台、タオル・雑巾、輪投げ台1セット)
◎ ICTを活用した情報ネットワークの強化 クラウド技術を活用してネットワーク環境の安全性向上と業務効率化を図る コワークストレージ、Googleツールの継続利用による業務管理
使用済み切手収集活動 家庭や企業にある使用済み切手を回収し、益金を福祉活動へ活用 収集量:約6kg 設置箇所:7ヵ所(福祉センター、役場総務課内、図書館3館、エコ・ハウスたかねざわ、森田不動産)
各種委員会等への参画 県社協理事会、県共同募金研究会、県ボランティア活動振興センター運営委員会、県フードバンク連絡協議会、町障害者自立支援協議会、高齢者総合福祉計画策定委員会、町こども子育て会議、町社会教育委員会、町医療介護多職種連携会議、町在宅福祉ネット、町福祉避難所ネットワーク、認知症地域支援推進委員会

■担当事務局

関連団体等との連携を図り、必要な支援を行います。

日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区
日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区赤十字奉仕団
高根沢町シニアクラブ(運営支援)
高根沢町ひとり親家庭福祉会(運営支援)
高根沢町身体障害者福祉会(運営支援)

【再掲】共同募金配分事業

共同募金会を活用し、各種福祉活動に配分しています。

赤い羽根共同募金地域助成事業	地域福祉事業
フードバンクたかねざわの運営	生活支援事業
心配ごと相談所の開設	生活支援事業
朗読ボランティアと連携した広報等朗読テープ配布事業	障がい者福祉事業
手話講習会(初めて講習、ステップアップ講習)の開催	障がい者福祉事業
障がい児と支援ボランティアとの交流事業	障がい者福祉事業
子どもと高齢者の交流事業	福祉教育・子育て支援事業
約束のハンカチ事業	福祉教育・子育て支援事業
広報誌「社協だより」の発行	情報発信